

みき 三木しんじろう 神戸市会議員 中央区 2022年2-3月号 通信

令和3年第2回定例会市会で2021年12月7日に行われた一般質問の内容をご案内させていただきます。
神戸市政を含め、ご意見やご要望がございましたら、メールにてお問い合わせいただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせ・ご意見は、こちらまで。 mikishinjiro@gmail.com

質疑内容



- ・都心・三宮再整備におけるLRT導入について
- ・不登校児童への支援について
- ・ポートアイランドの活性化について
- ・自転車専用道路について
- ・三宮の自転車駐輪場について
- ・児童養護施設の入所中と退所後について
- ・交通局の人材育成について
- ・補助金の有効活用について
- ・三宮再整備事業者選定について



都心・三宮再整備におけるLRT導入について

(三木)
フラワーロードの直線上には新神戸駅、三宮駅、市役所エリア、ウオーターフロントエリア、さらにはポートアイランドには神戸空港があり、フラワーロードは神戸にとって玄関口が多くあり、重要な動線である。都心・三宮エリアにLRTの導入により、クロススクエア※の整備に与える影響やLRTの関わりをどのように考えているのか？

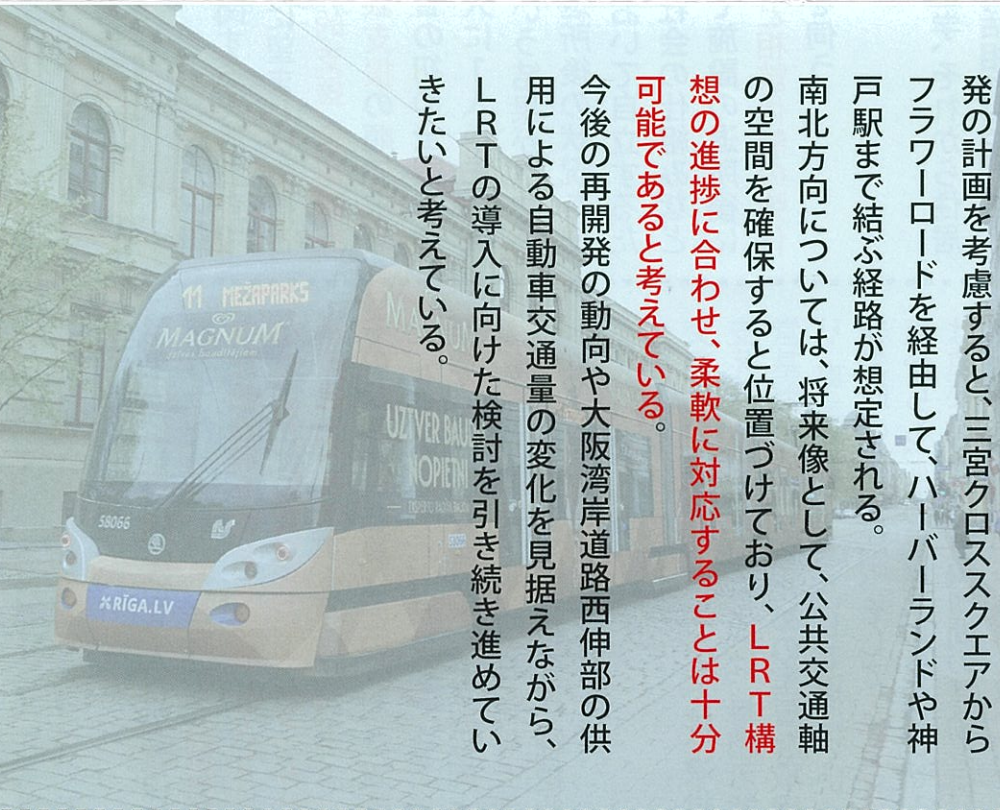
※クロススクエア
三宮交差点を中心にフラワーロードと中央幹線の一部を人と公共交通優先の空間とするもの

(久元市長)
LRTの導入については、需要の見極めや自動車交通への影響など、多くの課題があるが、経路を含めて現在、その可能性を模索し、検討をしているところである。

三宮周辺やウオーターフロントのエリアでの開発の計画を考慮すると、三宮クロススクエアからフラワーロードを経由して、ハーバーランドや神戸駅まで結ぶ経路が想定される。

南北方向については、将来像として、公共交通軸の空間を確保すると位置づけており、LRT構想の進捗に合わせ、柔軟に対応することは十分可能であると考えている。

今後の再開発の動向や大阪湾岸道路西伸部の供用による自動車交通量の変化を見据えながら、LRTの導入に向けた検討を引き続き進めていきたいと考えている。



不登校児童への支援について

(三木)
新型コロナウイルス感染症により、不安で登校できない児童・生徒は一時1,283人まで増加した。現在は減少しているが、全国的に見ても不登校の子ども達は多くおり、不登校の原因は多様化していると感じている。

ストレスやいじめ、家庭での生活リズムの影響など、様々な理由で学校に行けなくなった子供に対して、さらなる支援を行うために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに關してオンラインを活用して相談ができる、また不登校に特化した専門家チームの構築はできないか？

(長田教育長)
スクールカウンセラーによるカウンセリングは、相談者の微妙な変化や反応を言葉やしぐさから把握する必要がある。対面によるカウンセリングを原則としている。今後スクールカウンセラー等の意見も聞きながら、こういった条件を満たせば実施ができるのか検討したいと考えている。

不登校児童・生徒数については、近年増加傾向が続いている状況にあり、不登校対策の総合的、かつ体系的な支援の在り方を検討していく必要がある。不登校児童・生徒を個々の要因や背景に即した適切で効果的な支援ができるように取り組んでいく。

(三木)
オンラインでの実施は難しいとのことだが、不登校で学校に行けないのに、対面でのカウンセリングを受けに行くだけのために学校に行くというのなかなか厳しく、不登校というのは早期の対応が必要なケースもあり、可能であればオンラインを活用してカウンセリング等ができればと思っている。
また、フリースクールの補助についても行きたくても行けない方もいる中、今後の議論が必要かと思っ

ポートアイランドの活性化について

(三木)

ポートアイランドには、住居、神戸空港や企業、そして医療産業都市があるが、まだまだ空地が多く、活性化しているとは言いがたい状況である。

スポートセンターの移転と再整備、みなと空港線沿いの2期用地の暫定利用などのプロジェクトの展開が予定されているが、今後、大阪湾岸道路西伸部の事業化により、車両を立ち寄らせることや地域住民の目線になり、さらなる取組の強化が必要である。神戸空港国際化、ポートアイランドの活性化に向けての取組みについて聞きたい。

(久元市長)

今後、このポートアイランドの活性化に大きな影響を与えるのが大阪湾岸道路の西伸部の整備と神戸空港の国際化であり、今後新しく様々な取組を行うことが必要であると考えている。

指摘にあった大阪湾岸道路西伸部から利用客をこのポートアイランドに立ち寄っていただくような施設の誘致ということも十分可能性があり効果的であり、ポートアイランドの活性化に全力で取り組んでいきたいと考えている。2025年大阪・関西万博の効果をどう取り込むのかという視点も併せ持ちながら進めていきたい。

(三木)

住んでいる方々の目線にも立っていただきたいと考えている。活性化に向けた1つの手法として、「道の駅」や「ファーマーズマーケット」を開くことにより、西区や北区の新鮮な野菜の地産物の直売を行い、食都神戸のさらなる推進にも寄与すると考えているが見解を伺う。

(久元市長)

ポートアイランドの活性化というのは非常に重要であり、「道の駅」もその1つの可能性を持った方策であり、同時にファーマーズマーケットの開催やキッチンカーの展開というものも含めて、ソフト施策も組み合わせながら、ポートアイランドの活性化を考えていきたい。

(三木)

ポートアイランドは建物の老朽化の問題など課題はある。是非とも持続可能な活性化と地域の方も利用できるようなことを考えていただきたい。



自転車専用道路について

(三木)

自転車での快適な移動ができるように、フラワーロードやウォーターフロントなど都心エリアに安全確保のためにも自転車専用道路の整備を進めるべきだと思いませんか？

(油井副市長)

指摘のとおり、都心ウォーターフロントの回遊性を向上させることは非常に重要である認識している。

その中で、自転車も主要な手段の一つであることから、神戸市自転車活用推進計画において東西につなぐ幹線道路や都心・ウォーターフロントエリアの魅力向上に資する路線などを位置づけている。

安全性確保の面で構造的に車道と分離した自転車道が優れており、今後は道路空間に余裕があり、交通管理者や地域との合意形成が図られる路線において、自転車道の整備を進めていきたいと考えている。

三宮の自転車駐輪場について

(三木)

私のほうから以前からタワー型や地下型の自転車駐輪場の設置を要望してきていたが、何か動きがあるのか？

(油井副市長)

三宮については神戸市が主体的に既存の駐輪場に加え、当面の目標として約3400台を整備する。指摘のあった地下空間の活用やタワー型の機械式駐輪場なども含めて整備していくことが必要になると考えており、コスト面を含めて様々な整備手法等について検討を進め、必要な駐車台数の確保に向けて整備を進めていきたいと考えている。

児童養護施設の入所中と退所後について

(三木)

児童養護施設退所者に関する実態調査報告書によれば、退所後に望ましい支援として、就職や進学、生活相談支援、住居確保のための支援、生活相談支援の順で求められている。厚生労働省の初の全国実態調査でも、回答者の3人に1人が生活費や学費の悩みがあるという結果が出ているなか、児童養護施設退所後の状況を把握することや入所中において自立するための社会との関わりや社会の仕組みなどを学習する機会、そして施設の退所後は、アフターケアの拡充と相談体制の強化が重要と考えるが見解を伺う。

(小原副市長)

指摘のとおり、就職や進学、それから住居の確保、またその後の生活相談支援、こういったものは退所児童の自立に向けて非常に重要な支援であると認識している。退所に向けた準備として、ソーシャルスキルトレーニング(以下SST)を開催しており、社会人としての必要な手続や自活に向けた予備知識等について学ぶ機会を提供しているところである。

(小原副市長)

さらに、アフターケアとして、経済的支援に関しては22歳までの居住費や生活費に對する助成を行っている他、大学進学の際には、給付型の奨学金の活用も進めており住居確保支援の充実のため市営住宅の活用等も検討しているところである。また全施設に退所後のアフターケアを担当する自立支援担当職員を配置している。引き続き、児童養護施設と退所児童のニーズをよく聞き、施設退所後のアフターケアの拡充、相談体制の強化に努めていく。

(三木)

SSTも回数を増やし、職親制度や職場の見学プログラム等、子ども達が社会の仕組みや関わりを持つ機会をさらに増やしていただきたいと要望する。

交通局の人材育成について

(三木)

将来の公営交通を担う人材の確保・育成を行うためにも、各営業所で固定化してきた価値観や慣習を踏襲していくことなく、新しい価値観やチャレンジができる組織風土へ改革する必要がある。

そのためには職員などの人材を流動化させ、優秀な人材を育成することで各営業所の管理職のマネジメント力の向上を図り、営業所独自の環境や仕組みを変えていく、また、営業所間の異動を積極的に行うべきと考えるが見解を伺う。

(城南交通局長)

交通局の人材育成については、次世代を支える人材の確保・育成は、持続可能な経営基盤を確立するための重要な取組であり、事業戦略の1つとして掲げている。

(城南交通局長)

非常時の応援体制、そして人材育成の観点からも、他の営業所を経験させることは重要であり、営業所間の異動を行うべく、営業所の管理職のマネジメント力の向上については、交通局として取り組むべき最重点課題であるとされており、所長・副所長は業務上の責任者であり、運行管理者の指導・監督力を向上させることにより実現を目指している。

(三木)

外部の専門家による管理職研修・運行管理者研修などの実施、営業所の管理・監督体制の強化を目的にプロジェクトチームを立ち上げ、キャリアプランや研修プランに関する議論を行っており、新しい価値観やチャレンジできる組織風土の改革を実現したいと考えている。

補助金の使途や効果の検証について

(今西副市長)

補助金の使途や効果の検証というのは指摘のように大変重要であり、今年度は5年に1度の補助金見直しの中で、公益性や有効性、妥当性等の観点から全般的な検証を行う。引き続きファッション産業の振興に向けた効果が発揮されるよう、見直しを図りながら支援に努めていく。

(三木)

担当者レベルで分かっているということではなく、誰が見ても事業内容と効果が分かるような申請書と報告書がないとダメだと思ふ。5年に1度の補助金見直しの時期のためこれについても進めていただきたい。

三宮再整備事業者

選定について

(三木)

当局からは市役所2号館の整備について、都心・三宮の主要な事業であるにもかかわらず、市が事業を丸投げし、中身が分からないのは問題である。

また、「コロナの影響で三宮・元町での空き店舗がある状況もあり市役所2号館やバスターミナルビルなど新たに建設され中に入る事業者の選定や三宮再整備全体の相乗効果を得るために、神戸市が主体的に事業に関わり、事業を進めていくべきだと考えるが、どのような条件や計画、展望を描いているのか？

(今西副市長)

市役所2号館は、2021年8月に改定した基本計画では、新たなにぎわい創出を図るため、民間機能と相互に連携し、多様な魅力を生む複合施設として整備し、新たな「にぎわいの創出」を図る。

事業者の公募では、立地特性を生かした機能の導入や市民利用空間と一体となった活用によって新庁舎・にぎわい施設が魅力ある施設となるよう、市としても積極的に誘導を図っている。

民間事業者が持つノウハウを最大限に生かした提案を受け、都心エリアの「新たなにぎわい」・「回遊拠点」として、市民に親しんでいただける優れた複合施設の整備が実現できるものと考えている。



令和4年度予算 代表質疑

みき 三木しんじろう 通信

王子公園 再整備基本方針(素案)について

令和3年12月に出された素案内容

■ 施設の老朽化・陳腐化
■ 交通至便な駅前の立地特性を活かせていない、という課題があり、「グローバル貢献都市を先導する学術・文化・スポーツ拠点の形成」というコンセプトを掲げ、王子公園をゾーン分けした上で再整備を行う予定としておりました。

基本的な方向性として・・・

- ① **学術・文化拠点のシンボルの創出**
 - ・神戸の国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致する。
 - ・六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出する。
- ② **抜本的な公園のリニューアルによる集客力や魅力の向上**
 - ・交通至便な駅前の立地特性を活かした魅力ある都市型動物園へリニューアルする。
 - ・関西アメリカンフットボールの聖地として新スタジアムを整備し、広域からの集客力を高めるスポーツ拠点とする。
 - ・公園のエントランスに芝生広場などの居心地が良く、憩い・くつろげる空間を整備する。
- ③ **広域防災拠点としての機能強化**
 - ・新スタジアムやエントランスゾーンなどを活用した、災害時の物資の集積や救援活動など防災機能の強化を図る。

【再整備後に存続する予定施設】

体育館、弓道場、神戸登山研修所、相撲場、旧ハンター住宅、神戸文学館、原田児童館

【廃止する予定施設】

プール、テニスコート、補助競技場、陸上トラック(現スタジアム内)、わんぱく広場、遊園地(現動物園内)



令和3年12月10日～令和4年1月17日、市民意見募集を行い、5,632件以上の意見が集まりました。

「王子公園再整備基本方針(素案)」にかかる市民意見募集結果の概要については、こちら →



2022年2月24日 神戸市会 令和4年度予算 代表質疑 (場所:神戸市役所1号館 議場にて)
三木しんじろう から 久元市長ならびに関係当局へ

「王子公園再整備関係の質疑・要望内容」を御紹介させていただきます。

「パブリックコメント結果」から見た「王子公園再整備」の進め方について (三木しんじろう：はじめに)

駅前・住宅地に隣接している王子公園には動物園やスポーツ施設などがあり、神戸市民の多くの方々が様々な目的で利用されている公園で、神戸市の歴史ある財産の1つです。

「王子公園の再整備」に関しては、神戸市民にとって非常に関心の高いものであり、「老朽化対策」や「より市民に利用してもらうため」の再整備は必要であると思っておりますが、「王子公園の再整備の素案」にある、**大学誘致に関しては、公募内容や予想収益、そして、地域活性化の具体案を当局は明確にするべきであり、大学誘致ありきで「テニスコートやプールなどの廃止」ではなく、市民の多様な意見を勘案しながら、持続可能で周辺一帯の活性化と「魅力向上」に資する都市公園の再整備を行なうべきだ**と考えております。

また、**動物園に関しては、動物の姿かたちを見せることに主眼を置いた「形態展示」ではなく、園のスペースを広げ、行動や生活を見せる「行動展示」を導入するなど、動物本来の行動を引き出す「生体的展示」にすることによって、動物にストレスを与えない動物福祉を推進する観点を持つ必要がある**と思っております。

遊園地に関しては、民間からの公募も視野に入れ、より魅力的な遊園地にリニューアルすることで、子ども達が安全に楽しめる近距離レジャーとしての機能を強化し、集客増につなげるべきではないでしょうか？

今後の王子公園の再整備は、これまでの歴史を今に活かし、市民や利用者の声に耳を傾け、専門家からの意見を取り入れるなどし、ゾーニングや中身についての見直しを行う必要があります。

「素案」策定プロセス・市民への周知について…

(三木しんじろう 質問)

この度の「王子公園再整備基本方針(素案)」に関しては、市民意見募集の結果からも、周知不足により市民理解を得られておらず、再整備の進め方については、市民や利用者、そして議会に対しても事業計画の策定プロセスの透明化を求めるものである。素案を作成するにあたり、企画調整局・文化スポーツ局・建設局は、それぞれの様な調査を行い、素案に反映させたのか？また、地域住民や利用者に対して、どのような手法でどの程度周知してきたのか？

(久元市長 回答)

王子公園の再整備については、昨年1月の記者会見において、大学の誘致を含め基本的なこの再整備の方針について、公表をしたところである。その後、地域団体や各スポーツ団体と意見交換をさせていただきながら、基本方針の検討を行ってきた。建設局・文化スポーツ局については、王子公園内のそれぞれの所管施設についての現状の課題、問題点、再整備するにあたって、どのようなエリアに再整備をするということが適切なのかということこの両局が検討を行った。このような役割分担のもとにこの素案を作成したが、市民からの意見募集では地域への周知不足であるという御意見をいただいているところであり、今後さらに地域の方々との対話を丁寧に行いながら、検討を進めていきたいと考えている。



大学誘致について…

(三木しんじろう 質問)

大学の公募について「王子公園再整備基本方針(素案)」では、神戸の国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致する方向性が示されているが、公募はどのような基準や条件のもと実施されるのか？また、公募の結果、大学誘致に繋がらなかった場合はどのように対応するのか？

(今西副市長 回答)

大学誘致については、若年人口の減少や高度専門人材の育成確保といった全市的な政策課題の対応、さらには地域との連携による地域課題の解消や消費効果、経済効果の波及の観点からも非常に意義深いものというふうに考えている。公募に係る詳細な基準条件については、今後検討をしていく予定であるが、地域に開かれた競争力の高い大学を誘致していきたいと考えているところである。令和3年1月の定例会見での表明以降、複数の大学から問い合わせをいただいている。立地条件を踏まえれば、競争力の高い大学誘致の可能性は十二分にあると考えており、引き続き王子公園全体の再整備を市民にとって魅力ある内容にしていきたい。



(三木しんじろう 質問)

大学誘致を見直すのかどうか、素案を見直す中に含まれているのか？

(今西副市長 回答)

今回の提案させていただいた中で、この大学というのは大変重要な要素であるが、様々な御意見をいただいているので、全体の御意見を踏まえた上で、一定の見直しを図らせていただきたい。

プール・テニスコートについて…

(三木しんじろう 質問)

王子プールには、子供用のプール2つと、広いプールが1つあり、観客席はかなり広いスペースをとっている。テニスコートの敷地も余裕があり、受付の小屋もある。例えばプールの数を一つ減らすとか、テニスコートの小屋を王子スポーツセンターに集約するとか整理すれば、そのスポーツ施設を廃止しなくても縮小してでも維持できると思うが？

(今西副市長 回答)

ゾーニングや施設配置のあり方については、御意見をいただいた上で一定の見直しを図っていききたいと思うが、色々な可能性があると思うので、そういった可能性も含めて、検討させていただく。



王子動物園について…

(三木しんじろう 質問)

王子動物園や園舎の老朽化が進んでおり、老朽化対策も行わなければならないと思う。また、王子動物園をもっと大きくし、園舎をもっと広くするなど、環境を考えていく必要があると思うが？

(油井副市長 回答)

動物園については各園舎かなり老朽化している。

そういう中で再整備をするにあたって、1つは王子公園の中の動物園という限られた空間だが、指摘があったような園舎であるとか、使っていない園舎をどう活用していくのか、今からの動物園として、やはり動物福祉に配慮するような形をしていかなくてはダメだということを含めて、再整備のプランを考えていきたい。





もっと強く、もっと優しいまち 神戸へ!

さとっまち通信 10号

発行元：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL.078-322-0185
FAX.078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



ごあいさつ コロナ禍の先が見えない毎日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。このような状況下、地域回りも難しく、一人一人の皆さまとお会いしてご相談を受ける機会も減ってしまったように感じます。また、お悩みやご相談等ございましたら、お一人で悩む事なく、お気軽にご連絡をいただけたらと思います。ワクチン接種につきましては、議論の尽きないところではありますが、日本維新の会は、5~11歳へのワクチン接種の〈努力義務〉を外しました。神戸市は、子どもへの接種券の一齐送付を行いました。同封のチラシには発症予防効果について90.7%との表記がありますが、それはオミクロン株が出る前のデータです。厚労省のHPなどをよくお読みいただいた上で、お子さん含め、ご家庭でご検討いただきたいと思います。



2022.3.9 予算特別委員会 水道局

特別委員会での提案により実現しました!

実現! しました 教育委員会と学校を通さない弁護士への相談システム

『さとまち通信 8号』に載せておりました、保護者・生徒からの、教育委員会による、〈学校や先生を通さない弁護士への相談窓口〉が、昨年度より一学期ごとに一定期間の実施をされています。保護者の方々と連絡ツール“すぐる”から募集され、あっという間に満席になるようです。今後も継続してまいりますので、お気軽にご相談いただけたらと思います。※相談内容が、学校や先生に漏れ伝わることはありません。

その他、制服問題、校則問題、公衆入浴場の年齢制限問題など、問題を提議しております。皆さまのご意見をお聞かせください。(日々、学校園のお困りごとについても、市民の皆様からお悩みお聞き、都度対応しております。)

それぐらいのスペースが現状必要だということで、その大きさ決まっておりますので、将来的に検針の際に打ち出すハンディターミナルいうのを持って検針に伺って、そこで数値を入れてそれを印字しますので、その辺の更新の時期等に合わせたかどうかは一ただもう少し紙が少なくなるということになれば一多分紙を減らしていくという方向になるかと思っておりますので、ちょっとその辺は裏面のほうで見ていただくというふうな形でお願いしたいと考えております。

というやり取りを致しましたが、現在、みなさまお馴染み、水道料金の表示方法が変わりました。度重なる水道修理詐欺を防ぐためにも、おもて面への電話番号記載となりました。神戸市からの詐欺注意シールもあり、大幅に修理詐欺が減ったようです! また、さらなる提案を続けてまいります。

実現! しました 「ご使用水量のお知らせ」の表示を変更

おもて面 (Front side): Old notice shows a table of water usage. New notice includes contact information for the Waterworks Repair Center (0120-976-194) and a QR code for the repair center.

うしろ面 (Back side): Old notice shows a table of water rates. New notice includes a QR code for online payment and a note to check the back of the notice for future updates.

実現! しました 生理用品のローリングストックについて

令和3年 予算特別委員会第2分科会(令和3年度予算)/危機管理室 2021.3.9

さとう:例えば、今、ローリングストックということがよく言われております。避難所の環境に関して、ぱっと見たところ男性の方が多いんですけども、女性の意見というのはどういうふうにして、どういうふうにかかされているのか、お伺いしたい。また、生理用品など、リストには入っているが、それを捨てる黒いビニール袋などはない。そういう細かさも必要。避難所備蓄に対して、ローリングストックとして学校と連携するなど、そういったことを他局と連携されながら進めているのか、お伺いしたいと思います。

馬場危機管理室長:避難所の物資のローリングストックについてでございます。避難所の物資について、特に先ほど御指摘のありました、生理用品等につきましては、今確認したところ、期限が切れたものについては順次廃棄をして入替えをしているというような、そういうことを伺ってございます。先ほど来、御指摘があったとおり、ローリングストックで何らかの活用ができる方策があるのであれば、そういったこともぜひ今後、経済観光局と連携取りながら、検討していきたいというふうにご考えてございます。



昨年の3月の第二分科会において、生理用品のローリングストックを提案し、実現致しました。結果、様々な施設や各学校園においていただいております。もし、足りないようであれば、学校等を通じてお知らせしていただくと補充もできますので、ご利用ください。

令和元年 外郭団体に関する特別委員会 2019.7.29

さとう:このご使用水量のお知らせですけど、私もこの料金見て、すぐ保管してしまうんですけど、裏に電話番号が書いてあって、せめて表に修理はこちらと書いてあったら、料金とともに電話番号が目につく。そのあたりはどうでしょう、改善として。

林水道局事業部長:表面のほうは検針して水量とかそういうのを印字しますので、

◀ 2021.3.9 予算特別委員会 危機管理室・消防局

2021.10.1

さとう:以前より度重ねてきました避難所における避難弱者と言われる方への対応についてお伺いしたいと思います。先日の決算特別委員会での質疑での御答弁で、現在新たに警備会社と災害時における警備業務等に関する協定を締結いたしましたということがあったんですけれども、締結までには至っていないのかどうか、改めて進捗について今後の方針について日程などを含め、お伺いしたいと思います。

福井危機管理室長:避難所におきまして、そういった暴力であるとか、そういった防止するための警備会社との契約につきましては、現在進めているところで、今のところ、内容等について精査している段階ですので、できるだけ早い時期に実施できればと考えております。

さとう:詳しい方針や日程などというのは、今のところは決まっていらないんですか。

福井危機管理室長:現在のところ決まっておりません。また、分かり次第お知らせしたいと思います。

さとう:ありがとうございます。よろしくお伺いいたします。また、避難所運営を経験した女性職員からもヒアリング等を行い、神戸市のネットモニター等も活用しながら女性の視点を取り入れた避難所運営という御答弁もいただきました。その後、お聞きしましたらまだ準備中とのことでしたので、またこれ、女性のチームなどを組んでいただいて一定の権限とかを持たせていただいて進めていただけたらと思いますけど、そのあたりの何か今後の計画ですとか、そういったことについて今決まっていますでしょうか。

福井危機管理室長:先生の言われたことなんですけれども、九州の豪雨等につきましても、八代市での避難所の運営ということで女性職員も行ってありますし、ネットモニターの御意見も聞いておりますので、そういったものを総合的に考えまして今後また台風であるとか、豪雨もあることもあろうかと思っておりますので、そのあたりしっかりやっていきたいと思っております。

さとう:これ、もう2年ぐらい前から私ずっと提案させていただいておまして、明日起こるかもしれないという大災害対応についてのお話なので、危機感をさらに持っていただいてしっかりと取り組んでいただきたいと思います。引き続き注視してまいりますので、よろしくお伺いいたします。

2021.11.30

さとう:前回、警備会社と災害時における警備業務などに関する協定を締結したということがあったんですけれども、その避難所において警備をするということも入っていましたが、警備会社とは避難所の数など、前回の震災の経験を生かした、そういった情報を共有しているのかどうか、お伺いいたします。

山平危機管理監:前回の委員会でご先生からも御質問いただきまして、ちょうどあの頃、もうそういった協定に向けた作業を進めてございました。具体的には大規模な災害が発生した段階で、避難所生活における女性への犯罪防止といった安全性確保のほか、帰宅困難者の誘導や支援物資拠点の警備、こういったことを行政職員だけでは対応が難しい諸課題を総合的に解決するためということで、11月17日に総合警備保障株式会社、いわゆるアルソックですが、このこと災害時における誘導等及び警備に関する協定を締結しました。この締結する日に、向こうの幹部の職員が来られまして、私と面談して、いろいろ今回のこの委員会での皆さんの御意見とか、そんなんも含めてお伝えして、やはり警備の専門家の視点からいろいろと知見をお持ちですので、我々、今、神戸市で持っています避難所数とか、避難の状況とか、体制とか、そういったものをお互い共有しながら、これからは個別に具体的な内容を詰めていこうということを確認し合っただと、今はそういった段階でございます。

さとう:そういった提携、大事ですけれども、ここ一番大事やのに行けなかったというような繰り返しをしてたら、また同じようなことが始まってしまいますので、いざというときに現場で役に立つ動きになるような進め方をよろしくお願いいたします。

また、前回の委員会でご先生から女性チームでもつくって、意見をまとめて、それをさらにもんでいくようなことをしていただきたいという質疑において、避難所の運営ということで女性職員やネットモニターの意見を総合的に考え、今後また台風や豪雨に対するためにもしっかりやっていきたいという御答弁がありました。その辺りの進捗がありましたら教えていただきたいと思います。

福井危機管理室長:私のほうから女性視点でということアンケートも含めまして御答弁させていただきます。

それ以降なんですけれども、昨年の7月10日以降に熊本の八代市のほうに参りました女

性職員も含めまして、主に女性の方なんですけども、アンケートを取らせていただきました。その中で何か気づいた点はないかということをお伺いしました。そういった中で、例えば、更衣室であるとかシャワー室は別に分けられてるんですけども、やはり動線で人と会う、男性に会うということで、やはりちょっとためらう部分があるかどうか、あと、男性備品と女性備品がそろえてはいただけてるんですけども横に並んでると。そういった点で取るときにはやはり恥ずかしさがあると。それと、市の職員が実際には八代市の職員なんですけども、いるんですけども夜間帯になるといなくなるということで、そういった点で怖いなというような話もやっぱり出てきたということがございます。そういった点で、先ほど監理官のほうから答弁されました警備会社とのいわゆる協定というものが出来たんですけども、それ以外にもやはり様々な部分で意見を聞くということは必要であるということで、ネットモニターの方、3,300人を超える方、女性の方いらっしゃるんですけども、その方にもいろいろ聞いていきたいなと思っております。その中で、どうしてもそういった方々というのは、実際には長期にわたって避難所におられた方ではございませんので、様々ないい意見はいただけるとは思いますが、やはりその辺、難しい部分はあるかと思っております。そういった点で、御縁がございまして、東北大震災以降にいわゆる防災とジェンダーであるとか、男女で考える避難所対応というようなことで研究されております関西学院大学の准教授で、現在、人と防災未来センターの主任研究員もされてる方なんですけども、その方と御縁がございましたので、いろいろなそういった意見をいただきながら、実際にはそういった避難所の運営にとどまらず、そういったものを含めて災害対応についての女性の視点というのを生かせるものはないかということも反映しながら、検討していきたいなと思っております。そして、その結果を受けまして、今現在ございます避難所の開設であるとか、そういった運営のマニュアルについても手を入れていければいいかなというふう



2022.2.28 予算特別委員会 危機管理室・消防局

えております。
さとう:マニュアル作成にとどまらずに、やはりこれがいざというときに現場、現場で生かされないと意味がありませんので、マニュアルの次は、各地域でそれが役立てるような、それを生かせるような体制づくりというのを、次やることを待っていますので、その辺りにつなげていってほしいと思っております。やっぱり女性に優しい避難所というのはジェンダーにも優しい避難所となっていきますので、当然その避難弱者の方々には、

避難所で過ごすというよりも、早急にライフラインの整った住宅なりホテルなりに避難していただくということも念頭に置きながら、それでも避難所を使わざるを得ないときにどうやって弱者を救済していくかという方向で早急に検討を進めていっていただきたいと思っております。

2022.2.28 令和4年予算特別委員会 第2分科会

さとう:神戸市において、再び阪神淡路大震災クラスの大災害が起きたとしても、誰もが安心して避難できる避難所にする為、女性の意見や視点を取り入れる事が重要であると、これまで常任委員会や決算特別委員会にて質問させていただいていますが、現在の危機管理室の状況をお伺いいたします。

山平危機管理監:避難所運営に派遣された女性職員を対象に、昨年10月にヒアリングを実施。これらの意見も踏まえ、昨年11月に総合警備会社ALSOKと災害時の避難所の巡回警備を含めた協定を締結しまして、避難所の防犯対策の強化を行っていく事としたところでございます。また、さっきの常任委員会等で委員からもお話ありました、ご案内の通り現在、関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員の斎藤容子准教授と協議しておりまして、男女共同参画の視点における避難所運営をテーマにした市民向けのインターネットアンケート、この準備を進めておりまして、近日中にもアンケートを開始したいと思っております。このアンケートでは運営上の工夫、備蓄物資に関する設問、こういったものも設けておりまして、今後の防災施策に反映したいと考えてございます。さらに市民向けに男女共同参画センター主催で、3月26日に斎藤准教授による講演会、ジェンダーの視点から考える防災の話、いざというときにその内容の開催を予定しているほか、本市の令和3年度係長承認5年受験者においても、防災における男女共同参画の視点を取り入れた検証を行い、職員の意識向上を図っていくことにしております。

今後とも女性の意見、視点を避難所をはじめ、防災全般に取り入れるよう、危機管理室としても着実に取り組みを進めてまいります。

実現! 神戸市が警備会社と提携いたしました!

【女性が安心して避難出来る避難所の環境作り】

当選後よりずっと質疑してまいりましたが、この度、神戸市は総合警備会社ALSOKと災害時の避難所の巡回警備を含めた協定を締結いたしました。その他にも、女性に配慮した環境づくりがこれからも進んでまいります。やっとここまで来ました。また、ここまでご尽力いただいた当局の皆さまに感謝いたします。

〈神戸市×ALSOK 災害時における警備及び誘導に関する協定〉



道路など危険箇所の「皆さんからのご意見」例

事故多発!

塩屋の
見えにくい危険な溝

ポールを立てて
いただきました

大町交差点の
不透明で危険な柵

子どもたちの
通学にも
危険!

クリアで
見通し良くなりました

※サビについては来年度となり
そうです

温室効果ガスの削減について

さとう:温室効果ガスの削減に向けた市民の行動を促す仕組みについてお伺いいたします。

山と海に囲まれた神戸は空き地が少なく、森林を伐採してしまう環境破壊する太陽光は難しいこと、風力もその低音での漁業への影響やコスト面で課題が残ること、水力も降水量に左右されることなど考えますと、各御家庭で発電していただくことしかないので考える。

→「太陽光パネル・蓄電池の共同購入(グループパワーチョイス)」を実施 ※今年度も実施予定です。 https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/694197637573.html



プラスチックごみの削減について

さとう:次に、プラスチックごみの削減に向けた民間事業者との連携についてお伺いいたします。

プラスチックごみの対応として、環境局は回り続けるリサイクルをテーマに取組を進めるということをお聞きしております。プラスチックの品目別回収の量も、ポピュラーなものはペットボトルですが、神戸市では缶・瓶との3種混合収集となっております。単一素材でできているペットボトルは、リサイクルの好適品であるため、本来は単体で回収したほうがよいものです。このほかにも、リサイクルに適したプラスチックは、コープこうべをはじめとする民間の小売業者が店頭で回収を行われている。店頭回収を行う民間事業者に補助金を交付して、回収品目の拡充を促し、持ち込む市民に対して、イイことぐるぐるのポイントを付与するなど、今ある回収拠点や仕組みを最大限活用する事が回り続けるリサイクル実現への近道だと考えますが。

碓永環境局副局長:御指摘の店頭回収に対するインセンティブのお話ですけれども、店頭回収の歴史はやっぱり古くて、コープこうべさんなんか1990年からやっておられて、非常に先進都市であるということは認識しております。現在、26事業者、247店舗でやられてまして、プラスチック類の元年度の年間回収実績も、トレー等400トン、ペットボトルで600トン以上ということになっております。また、環境保全審議会のほうのプラスチック専門部会のほうも、こういう店頭回収の拡大とかについては、やはりインセンティブ等を具体化して、その情報提供に努めるということも提言をいただいているところでございます。また、国のほうも、1月に示されましたプラスチックのあり方につきましても、自主回収の拡大に向けて、消費者に対する分別協力のインセンティブをはじめ、事業者が実施する様々な回収量向上策を促進するため、必要な支援を行うとされておまして、委員御指摘の店頭回収につきましては、このような国の動き、どのようなインセンティブ付与の形が出てくるのかも含めて、今後、検討していきたいというふうにご考えております。

さとう:ありがとうございます。午前中の質疑を聞いていて思ったんですけども、プラスチックごみという、ごみという認識が問題ではないかと思いましたが、そもそもの意識がごみだから、捨てるときに資源という認識の切替えをすることが難しいものではないかと思えます。ごみと言うから雑に扱われ、きちんと洗わず、残渣が出るものかと思われまして、なので、最初から資源という言い方に統一したほうがよいのかも思いますが。

碓永環境局副局長:当然資源ということで意識してやることは重要だと思っています。さとう:再び使えるものはごみではないと思えます。単一素材のものは借り物という意識づけをすれば、単一素材で純度の高いものに関しては、ごみという認識を刷新すればよいのではないかと思います。

食品ロスの削減について

さとう:次に、食品ロス削減についてお伺いをいたします。(コロナ禍での学生などの食糧事情を見て)

J A六甲は、運営する六甲のめぐみにおいて発生する販売期限を越えた青果品を西区の婦人会——狩場台婦人会などに提供し、提供を受けた婦人はふれあい給食などの食事にお役立てしているとお聞きしております。現在、神戸市で実施しているフードドライブでは、いわゆる加工品や乾物などが中心となっており、生鮮食品は対象外となっております。これがもし食品ロスが発生する場所と食支援を実施する事業者が近接して

視察 西区の資源リサイクルセンター、こうべ環境未来館、港島クリーンセンターへ視察に 港島クリーンセンター 視察 大阪湾岸道路西伸部 (六甲アイランド現場) 成人式 来年こそは、成人を2グループに分けることなく、全ての区の成人が賑やかに集まれますように。 竹林の伐採 (多井畑西地区) 竹林伐採のお手伝いをさせていただきました。 CO+CREATION KOBE (行政と民間事業者が協働で公共サービスの提供)

存在するものであれば、野菜などの生鮮食品の提供というようなことも考えられるのではないのでしょうか。もちろん販売期限を過ぎた青果品という性格上、まとまった量の食品が常に一定確保できるという保証はありませんけれども、食支援を実施する事業者にとってみれば、無償で食材が入手できるというのは大きなメリットだと考えられます。農協にしても、提供した食品が食支援とは別の目的で横流しされても困るので、神戸市が間に入り、農協と食支援事業者をマッチングさせるようなことをモデル的に実施してはいかがかと思いますが、見解を端的にお願いいたします。



2021.3.10 予算特別委員会 環境局

浜本環境局副局長:フードドライブにつきましては、そういうもので、やはり生鮮食品品というのはなかなか使いづらいということで、課題もたくさんあると。委員御指摘のとおりでございます。そういったことでありますが、平成30年から神戸市のアクションメニューは、そういった余剰食品、生鮮品も含めまして、調査・研究を進めていくようにということで取り組んできてございます。先ほどおっしゃられた六甲のめぐみでの取組もしてございます。そのほかにも、現在、こども家庭局と連携したそういった取組をやってございまして、農協とはそういう取組、今現在も取組を続けておりますんで、引き続きそういった課題が、うまく課題を解消できるように、取組、調査・研究していきたいと思っております。

路上喫煙禁止区域について

さとう:神戸市の路上喫煙禁止区域は、三宮・元町、六甲道地区、海水浴期間中の須磨海岸・須磨海浜公園地区の3地区となっております。違反者からは行政罰としての過料を徴収しており、令和元年度は3地区の合計で921件の過料徴収実績があることをお聞きしました。これ自体は本当に評価しておりますが、路上喫煙禁止地域はこの3地区だけでいいのかと考えております。公共の場所での喫煙マナーの周知・啓発、シンボリックエリアでの限定的な実施による地区外への効果の波及といったことが目的なのであれば、何もこの3地区に限定する理由はありません。三宮・元町が指定されていて、なぜumieやモザイク、アンパンマンミュージアムといった集客施設がある神戸駅周辺が指定されていないのか分かりませんし、六甲道駅周辺が指定されているのに、なぜそれよりも乗降客数が多い快速停車駅の住吉駅や垂水駅の周辺が指定されていないのかも分かりません。海水浴場という位置づけを言うなら、神戸市には須磨海岸以外にもアジュール舞子があり、一体何を根拠に、どのような考え方で今の禁止地区が指定されたのか、見解を伺います。

碓永環境局副局長:御指摘のハーバーランド周辺や垂水駅等の通行量の多い鉄道の駅周辺などは、ほとんどもうばい捨ての重点区域に指定しておまして、日頃から啓発は行っております。環境局としても毎年定期的に路上喫煙等実態定点調査を実施しております。喫煙者数の平成30年度から令和2年度の3年平均を見ますと、三宮・元町地区全体では9.7人、ハーバーランドでは4.7人、JR垂水駅周辺では3.7人、住吉駅周辺では5.0ということになっておまして、今の状況においても、全体的にやっぱりこういう喫煙者がいることは問題でございますけれども、ただ、路上喫煙禁止地区でございます三宮・元町地区のほうが多いという状況がありますので、直ちに禁止地区を拡大するというのではなく、現在の路上喫煙禁止地区をシンボリックエリアとして、より力を入れていきたいと考えております。

ばい捨て防止重点区域での過料徴収について

さとう:ばい捨て防止重点区域での過料徴収についてお伺いをいたします。神戸市のばい捨て防止重点区域は、市内に33地区ありますが、この地区指定にどれほどの意味があるのか伺います。というのも、ばい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例では、市内全域でばい捨ての禁止及び路上喫煙をしない義務が課せられているものの、努力義務であるため、法的な拘束力のない、理念だけのものとなっております。このうち、先ほど議論を行った路上喫煙につきましては、不十分とはいえ、少なくとも市内3地区で行政罰としての過料を徴収しておまして、一定の抑止効果が働いておりますが、ばい捨て防止重点区域については、刑事罰としての罰金2万円が規定されているものの、運用実績はゼロであり、全く意味をなさない規定となっております。これは刑事罰としての罰金では、警察、検察、裁判所による一連の司法手続を要するためということが原因のようですが、運用される見込みがないのだとしたら、なぜこのような罰則規定を置いたままとしているのか疑問です。路上喫煙防止区域で適用している行政罰としての過料であれば、神戸市の判断で徴収することが可能であり、たとえ1,000円と少額であったとしても、ばい捨て防止重点区域としての実効性は格段に高まるものと考えます。ばい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例を改正し、ばい捨て防止重点区域での罰金を過料に改め、実効性を高めるべきだと思いますが、見解をお願いいたします。碓永環境局副局長:確かに、過料については直罰化ということで機動性が高くなるメリットはございます。ただ一方で、他都市も入れているんですけども、やっぱり一瞬の行為ということで、現認性が難しいということで、なかなか実効性はとれてないのも事実でございます。そういう観点で、今までの罰則の規定及び過料の検討をしてきた経緯も含めまして、今後、引き続き時代に即した多様な手法を活用するなどしまして、効果的な啓発方法の検討を進めてまいりたいと思っております。

LAGOON COMMUNITY PARK

つながりが生まれる場

「憩いの場」や「過ごすことが心地良い場」を創出し、地元で愛される市の魅力発信に繋がる場を目指す

集客予測：
年間約57万人

KOBEフードリゾートゾーン (約6,714㎡)

A棟外観



ラグーン周辺にコンテンツを配置し、賑わいの連続性、回遊性向上を図る。ライトアップで、ナイトシーンを演出し、新たな夜のニーズを創造。

- ・A棟 ・BBQエリア ・BBQ管理棟
- ・コミュニティゾーン
- ・ビーチゾーン(事業用地外の活用提案)

【A棟概要】

建築面積:858.61㎡ 延床面積:1,132.68㎡
階数:地上2階建 構造:鉄骨造

■地産地消のレストラン・食物販 ■水景やデッキの設置



ライトアップイメージ

コミュニティゾーン (約1,863㎡)



- ・地域生産者、学校、企業連携イベント
- ・移動商業店舗、コンテナ店舗

スイーツ&アートガーデンゾーン (約3,480㎡)

B棟外観



明石海峡大橋の景観を活かす配置計画とし、地域参加型アートガーデン等を設置

- ・B棟 ・見晴らしデッキ ・アートガーデン

【B棟概要】

建築面積:183.01㎡ 延床面積:192.11㎡
階数:平屋 構造:鉄骨造

■スイーツ等の提供、販売

配置図及び外構図



アクティビティレジャーゾーン (約3,368㎡)

ボルダリング



大人も子どもも楽しめるレジャーの場を創出

- ・アスレチック、ボルダリング、遊具の設置
- ・ドッグラン 等

完成イメージ図 (参考)



事業用地全体を含む鳥瞰図

BE KOBE ゾーン (約882㎡)



- ・神戸のシンボル「BE KOBE」のモニュメント設置
- ・キッチンカーによる販売 等

※ 本イメージは計画提案時のものであり、変更となる可能性があります

● 交通渋滞についての課題は残ります。

変異株に対する個人の基本的な感染予防策はこれまでと同じ、**三密の回避・マスクの着用・手洗いの徹底**をお願いいたします。
そして、**日頃からの体力作り**も大切です。適度なウォーキングや、声を出し喉を鍛える事、食事はバランスよく、繊維質のものもしっかり食べて、**胃腸を良い状態にしておく**事も、ウイルスに強くなる体力作りとなります。

新型コロナウイルス専用 健康相談窓口 ☎078-322-6250 24時間対応

新型コロナウイルス感染拡大で不安を感じている方へひとりで抱え込まずにご相談ください。

●精神保健福祉センターの相談窓口

☎078-371-1900 月曜～金曜
午前8時45分～17時15分(12～13時・祝日除く)

●新型コロナウイルス感染症の影響による市税の納税猶予制度の相談

【神戸市行財政局税務部収税課】

☎078-647-9475
(平日 8時45分～17時30分)

●緊急小口資金新型コロナウイルス特例貸付コールセンター

休業や失業等により収入が減少した方を対象

☎078-262-1626 月曜～金曜
9時00分～12時00分/13時00分～17時00分

24時間いつでも。悩み事などご相談ください。

▶ こうべっ子悩み相談「いじめ・体罰・子ども安全ホットライン」

フリーダイヤル ☎0120-155-783 ※相談通話料 無料

☎078-361-7710 ※通話料 有料

●全国共通「24時間子供 SOS ダイヤル」
電話相談24時間(土日祝含む) 0120-0-78310(通話料無料)

●総合教育センター教育相談指導室(不登校、学校生活、いじめ、体罰など)
電話相談 9:00～17:00(平日) 0120-790-783(通話料無料) (078)360-3152・3153
面接相談 10:00～12:00/13:00～17:00(火～金曜・予約制) (078)360-3150・3151

虐待を見たら 聞いたら... ☎189番 (緊急の場合は110番へ)

※通報者の身元を明らかにする必要はありません。

救急に迷ったら... ☎#7119番 (シャープな119)

性犯罪被害相談... ☎#8103番 (ハートさん)

日本維新の会神戸市議員団

垂水区広聴事務所

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町1丁目3-11

☎080 2420 8727

✉ satomachikobe10@gmail.com

住本かずのり

すますみ便り

ヤル気、元気、本気!



令和4年第1回定例会にて

議会改革検討委員会において議員定数削減等検討中

議会内では昨年より、「議会改革検討委員会」が組織されて議員定数削減などが議論されています。我が会派は4年前に「本議会議員数は人口同規模他都市(福岡市、川崎市)と比較して議員数が8~9名多い。従って同規模他都市と合わせて削減すべき。せめて段階的に削減し4名からでも始めるべき。」と議長宛に提言書を提出しております。その考えに基づき、今回の検討会でも主張しております。引き続き「身を切る改革」として、議員定数、議員報酬削減に取り組んで参ります。

「身を切る改革」実行中!

私は毎月議員報酬手取り相当額2割を被災地等へ寄付を続けています。
※公職選挙法上、神戸市内の寄付は禁止されています。

寄付状況 令和3年度1月から12月分

合計 **1,495,500円**

【寄付先】長崎県令和3年8月大雨義援金として

こあさひ

神戸市の令和4年新年度予算は3年ぶりに増加し、コロナウイルスが出現する前の市税収入が確保できています。一方で、年初より新型コロナウイルス、オミクロン株が猛威を振るっており、まん延防止等重点措置が延長されるなど、市民生活や事業者にとっての厳しさは継続しております。そこで、コロナ後の新しい社会情勢を見据えた「都市の魅力向上」「コロナ禍における市民・事業者の支援」という観点で予算議会において、会派代表質疑を行いました。引き続き、市民への感染予防・福祉向上に取り組んで参ります。

【昨年度決算代表総括質疑】令和3年9月24日

私の市政報告の前回号(22号)で掲載しました質疑要望が**実現しました!**

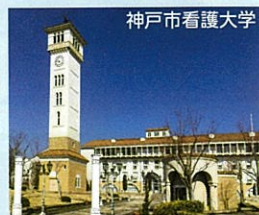
1 コロナ禍においては若年者の軽症の陽性患者が増えている現状より、自宅療養者は益々増加すると予想される。「ファストドクター」に代表される事業者はPC、スマホからでも24時間自宅からオンライン診療が可能である。柔軟な医師相談体制の確保をお願いしたい。

実現! 事業者「ファストドクター」への委託により、診療所および病院の対応時間外(平日夜間および土曜午後、日曜祝日)において、保健センターの依頼にもとづき、医療的支援を必要とする自宅療養者への電話・オンライン診療を行い、必要な方には往診を実施します。(令和4年1月28日より実施)

2 神戸市看護大学は市内他の看護大学に入試の競争率で負けてしまっている(令和3年入試前期1.9倍)。また、卒業生の市内就職率(46%)も低く、市税を投入している大学から他都市への看護師の流失は問題である。市内就職率アップ、選ばれる大学となることは喫緊の課題である。

実現! 神戸市看護大学における優秀な学生の確保・市内就職促進施策が実施されることになりました。

- 入学金の引き下げ(令和5年4月入学生から対象)
〔市内生〕28万2000円 → 14万1000円 〔市外生〕42万3000円 → 28万2000円
- 市内医療機関等に新卒就職する学生に奨励金を支給
(令和5年3月の卒業生から対象)
〔支給額〕14万1000円、市内入学生が市内就職した場合実質入学金“0”円



神戸市 学校給食 センター 整備計画

中学校給食の全員喫食制への取り組みについて

中学校給食の全員喫食に向けての取り組みは前回お知らせした通り「中学校給食の全員喫食制への移行に向けた基本方針」に沿って進んでいます。そこで新たに市内2箇所の学校給食センター整備をするにあたり、建設予定地が決まりましたのでお知らせします。

第1回定例会 令和4年度新年度予算会派代表質疑を行いました

Q1 名谷・落合中央公園リニューアルについて

住本 質疑

名谷駅ビルリニューアルと共に、落合中央公園のリノベーションが新年度予算で計上されている。計画では、芝生広場と新たな遊具が示されているが、公園内に位置する落合池は江戸時代初期の古い地図にも記載があり、その池を境にして摂津と播磨の国が分かれていたという国境の歴史ある池でもある。また、公園内では「けいか木」の化石が出土したり、約50種類もの野鳥が観察できたりして、大変自然豊かな公園でもある。リニューアルの際は、これらの「歴史性」や自然環境を活かしての「教育的観点」や「住民との親和性」を取り込んだ検討もするべきと考えるが。

油井 副市長

落合中央公園のリノベーションにあたっては、駅からのアクセス改善、回遊性の向上、散策ルート、展望スポットの整備など特色ある豊かな自然環境を活用したい。また、ご指摘いただいた自然環境だけでなく、歴史的文化を伝える貴重な資源となっていると思っている。そのような教育的視点も踏まえながら、自然環境をはじめ様々な公園の特色を活かして取り組むことで、公園の魅力さをさらに高めていきたいと考えている。

住本 要望

現在、公園内の管理事務所2階で神戸市と兵庫県立大との共同で、テレワーク、コワーキングスペース等を提供する社会実験が行われている。その中でもゼミが開催されて地域の方々も様々な公園活用法を提案している。今後の実験結果を踏まえて、公園ハード整備だけではなく、地域住民の公園やまちづくりに対する「協働と参画」につながるようなソフト面の仕掛け作りの拠点になるよう整備願いたい。

他の質問は裏面へ続く



▲約100年前の地図。ピンクの線が摂津(右)と播磨(左)の国境、中央丸印が落合池。

【出典】1923年測量大日本帝國陸測量部 25,000分の1地形図に加筆

▼落合中央公園イメージ



- ①(仮称)北部学校給食センター(神戸市北区藤原台5丁目19番)
調理能力 1日あたり最大11,000食程度 配送エリア 主に兵庫・北・長田区
- ②(仮称)西部学校給食センター(神戸市垂水区狩口台3丁目1-3)
調理能力 1日あたり最大9,000食程度 配送エリア 主に須磨・垂水区

市内他のエリアは民間の給食センター、近隣の小学校の調理室からの配送などを令和6年度中を目途に、中学生全員喫食に向けての事業開始で進んでいますので、引き続き取り組んで参ります。

福祉局 高齢者のフレイル(介護)予防について

住本 質疑 コロナ禍により、高齢者の外出自粛に伴い、他者との交流機会が減少している状況が約2年間続いている。フレイルの進行は、高齢者自身の生活に大きな影響を及ぼすとともに、神戸市全体の活力低下にもつながりかねないと危惧する。



昨年の調査では、運動機能が下がった人は2ポイント増え、気分が沈んでいる傾向の人は4ポイント増えたというデータがある。令和4年度は、フレイル予防・介護予防の観点から、これまで以上に力を入れて取り組みを進めるべきと考えるが。

森下 局長 令和4年度の取り組みとしては、スマートフォンを活用したオンラインカフェや、それに加えてメール、インターネットを使ったICT活用を合わせた取り組みを進めたい。更に、ホームページで体操や脳トレなどのコンテンツも発信したい。また、外出して介護予防をすることは非常に重要であり、様々な機会での情報発信が必要ということで今年の1月の「広報こうべ」でフレイル特集を行った。楽しみながら継続して社会参加できるよう運動学習など個人にあった取り組みをタイプ別に紹介した。今後は「つどいの場※1」をインターネットで情報公開を準備している。

住本 要望! 高齢者が積極的に外出機会を増やすような仕掛けづくりに取り組むべきである。そのためには他部局間の連携は必須である。例えば、文化スポーツ局は様々なイベントや行事を企画している。

Check! ※1 つどいの場: 地域住民が主体となり、高齢者の方が日常生活の中で気軽に参加していただける活動の場のこと。

神戸市立博物館でのイベント案内や、埋蔵文化財センターでのボランティア紹介など、後は民間との連携も必要。例えば、山陽電鉄などの月毎のイベント紹介。「山陽ハイキング」「平日ウォーキング」などは気軽に参加できるのではないかと。福祉局として必要な方に必要な情報発信を適時に行うよう要望する。

更生保護施設「神戸学而園」に(こうべがくじえん)視察に行きました。

ここは、兵庫県内に3箇所ある更生保護施設のうち神戸市内唯一の施設であり、犯罪や非行を犯した人を一定期間保護して、社会復帰を助け、再犯防止するという重要な役割をもった施設です。市の計画道路拡張工事に伴い、新築移転されました。建設費の一部補助など議会を通じて神戸市に要望し実行がなされたため、建設費の目処が立ち、令和4年1月に完成しました。定員は20名となっております。



▶ 神戸市会HPで録画中継がご視聴できます ▶



Q2 コロナ禍における再犯防止施策について

住本 質疑 新年度予算においてコロナ禍での生活困窮者への支援として、困窮を理由とした再犯防止のため、出所者等への自立・社会復帰に対する支援を検討することだが、具体的にどのように支援していくのか見解を伺いたい。

久元 市長 再犯を引き起こす大きな要因としては、仕事や住居の確保ができないなど、生活をする上での課題を抱えている場合が多く、結果的に生活困窮状態にあることが指摘されており、そういう場合には、区役所の「暮らし支援窓口」での相談対応を行なってきたところである。今後は更生事業に協力いただき、出所者等を積極的に雇用してくれる「協力雇用主※2」を拡大することが非常に重要である。現在でも、行政への一般入札参加資格や一般競争入札等での「協力雇用主」事業者の加点制度を設けて拡大を図っているが、この部分の更なる拡充を含め効果的な制度構築に向けての検討をしていきたい。また、**再犯防止に繋げるべく、庁内の実務者を中心とした検討委員会の設置を行いたい。** 検討会では、保護観察所や保護司会等の方々、外部の有識者へのヒアリングを実施し、出所者の現状把握や国県を含む既存の支援政策や役割分担の整理を行い効果的な支援策を検討していきたい。

住本 要望! 居住先については、神戸市の支援で更生保護施設である「神戸学而園」が建て替え完了し、視察に行かせてもらった。雇用の問題はコロナ禍の影響で、「協力雇用主」事業者も増えていないし、それらの事業者も雇用を減らしている。大阪市では市保護司連絡協議会と協定を結び、雇用先の確保として保護観察対象者等を臨時職員として任用し社会復帰を支援している。検討会でも他都市の事例も研究して取り組んでいただきたい。

Check! ※2 協力雇用主: 刑務所出所等などの犯罪を犯した人を積極的に雇用し、再犯を防止するため社会復帰に向けての取り組みに協力いただく事業者。



Q3 コロナ禍における物販移動販売店・キッチンカーの事業支援について

住本 質疑 新年度より、JR三宮南側駅前広場において、キッチンカー事業者などが出店できる場所を通年で提供し、企業支援・定着促進を図るとされており、コロナ禍の影響で売り上げが減少している事業者には有効な取り組みと考える。一方で、本市が関連するイベント等を実施するに際し、各部局がバラバラに出店募集している例が見られる。キッチンカーを含む物販移動販売店の出店募集の情報は一元化や共有化が必要ではないか。他部局間連携のもと、情報を一元化して出店しやすい環境づくりを行い、各事業者の販路拡大に繋げるべきと考えるが。

今西 副市長 これまでキッチンカーにおいては経済観光局と都市局でそれぞれの趣旨で取り組みを行っていた。ご指摘いただいたように、現状は分かりにくくなっていた。令和4年度よりは、**経済観光局に窓口を一本化したいと考えている。** 支援対象にキッチンカーを含む移動販売車に広げ、出店場所の調整や利用者への広報などを一元的に実地したい。また、移動販売車関連の事業紹介の専用ホームページを作成し、出店情報、広報ツールとして活用いただける他、出店者と土地オーナーのマッチングを行い出店場所の調整する機能も持たせたい。市内の移動販売車の出店地図も表記して、利用者の後押しをすることで、起業支援定着促進を図っていきたい。

住本 要望! キッチンカーや移動販売店などの情報一元化は市民にとっても利便性が良くなる取り組みである。新年度は、地場産応援クーポンという割引プレミアムクーポンも発行される予定であり、地場産品の移動販売店とこのクーポンの連携したイベントなども検討して、落ち込んだ地域経済活性化に取り組んでいただきたい。



● 市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

公式サイト <http://www.k-sumi.jp> **住本かずのり** 検索
E-Mail suma@k-sumi.jp **住本かずのり** オフィシャル Facebook

● 発行: 日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号1号館29階
TEL: 078-322-0185 FAX: 078-322-0184

神戸市須磨区支部
〒654-0051 神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231 FAX: 078-735-8231

住本かずのり(須磨区選出)

市政相談
受付中

